オンラインシラバス　中学2年生　インターナショナルコース(SG)

SG　現代文 ---------- 2

SG　古典 ---------- 3

SG　歴史 ---------- 4

SG　数学α ---------- 5

SG　数学β ---------- 6

SG　理科Ⅰ ---------- 7

SG　理科Ⅱ ---------- 8

SG　英語 ---------- 9

SG　English ---------- 10

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文	SG	3	宮田

到達目標
①説明的文章については、精緻な文章読解を通じ、筆者の主張を正確に理解する力を養う。 ②文章の読解を通じ、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げるとともに見識を深める。 ③筆者の主張を多角的に検討し、地震の意見を主体的に構築・表現しうる力を養う。 ④自分の意見を発表したり記述したりする訓練を通じ、レポートや論文を書くための素養を身につける。

授業の進め方・学習方法
集団授業を基本とし、ディスカッション、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。 漢字テストや単元のテストはその都度告知します。シリウスは週末課題や長期休業中課題として活用します。

授業スケジュール	
1学期	教科書 小説　「タオル」(重松清) 韻文　「短歌の味わい」(穂村弘)
1学期中間試験	
1学期	評論文選 評論　「白の発見」(原研哉) 教科書 小説　「夏の葬列」(山川方夫)
1学期期末試験	
2学期	評論文選 評論「『やつし』の美学」(磯崎 新) 先取り教材　「高瀬舟」(森鴎外)
2学期中間試験	
2学期	評論 「想定外の世界での芸術」 「社会は存在するか」 先取り教材「清兵衛と瓢箪」
2学期期末試験	
3学期	教科書 小説　「走れメロス」(太宰治) 評論文選 評論　「ことばの多重性＝活性化」「サウジアラビア映画『少女は自転車にのっての覚書」「自由のこれから」
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
伝え合う言葉　中学国語2	教育出版	
はじめての評論文20選	明治書院	1年次より継続使用
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習社	
プレミアムカラー国語便覧	数研出版	
Sirius発展編国語	育伸社	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
昨年度培ったテクストを正確にインプットする力をより伸ばし、自分の意見を自分の言葉で表現する力の育成に努めましょう。また、 他者の意見に耳を傾け、言わんとすることを適切に理解できるよう集中力をもって授業に臨んでください。わからない言葉、漢字は事 前にノートにまとめておく等の、基礎的な学習も怠らないように。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典	SG	2	大石・萱野

到達目標

・古典作品を通して教養を広げ、様々な価値観や考え方を身につける
・表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える力を育成する。
・文語の文法を学び、今年度は用言の活用について理解する。

授業の進め方・学習方法

・古文と漢文の有名作品をバランス良く読み進めていきます。
・単元ごとに作品を読んで考えたことや感じたことをフォーム等用いて共有していきます。
・基本的な古文単語については小テストを随時行い、定着を図ります。

授業スケジュール

1学期	古文『枕草子』より「春はあけぼの」「うつくしきもの」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」復習 漢文「論語」
1学期中間試験	
1学期	古文『徒然草』より「仁和寺にある法師」「奥山に猫またといふもの」 古文「助動詞の意味」 漢文「返読文字」
1学期期末試験	
2学期	古文『平家物語』より「敦盛の最期」 漢文　故事成語「蛇足」 文語文法「助動詞　る・らる、す・さす・しむ・ず」 漢文「再読文字」
2学期中間試験	
2学期	古文『伊勢物語』より「芥川」「あづま下り」 漢文『雑説』より「千里馬」 文語文法「助動詞　き・けり・つ・ぬ・たり」 漢文「句法　否定」
2学期期末試験	
3学期	古文『おくのほそ道』より「旅立ち」「平泉」 漢詩「春望」その他 文語文法「助動詞　む・むず・けむ・らむ」
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心としてその他活動で総合的に評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系古典文法	数研出版	
古文単語315	桐原書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

古典に慣れ親しみながら、そこから得た情報を文法的に整理していきます。
古典には二つの顔があります。一つには、私たちの言語文化に近い日本語としての顔。もう一つには、私たちの言語文化から遠い一種の外国語としての顔。
したがって、古典を勉強するときにはその二つの側面に気をつけることが重要です。
現代ではほとんど古語も漢語も日常的には使われません。ということは、一種の外国語学習と共通するものがあります。外国語を読む際に必要となるものは、語彙と文法です。こつこつとこの二つを補完しながら積み重ねていくことが古典でも大切になってきます。近さと遠さ。これらを意識して楽しく古典を学習していきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	歴史	SG	3	岡田

到達目標

（1）各国の歴史の流れを把握した上で、それぞれを関連付けるという、タテとヨコの軸を意識した理解を深める。
（2）資料・史料読解をすすめることで、内容を適切に要約する力、多面的・多角的に考察する力を養う。
（3）グループワークを通じて、自分の意見をまとめ、発信する力を養う。

授業の進め方・学習方法

（1）教科書準拠のワークで流れと基本事項を確認する。まずは自分で教科書を読み、ワークの空欄補充を行う。その後、要点を適宜解説する。
（2）配布プリントにて、単元に関する資料・史料を確認。内容要約や意見をまとめるなど、小論文的要素を取り入れた作業をおこなう。
（3）適宜、グループワークを取り入れ、議論する。

授業スケジュール

1学期	【2】近代化と私たち 1. 江戸時代の日本と結びつく世界 2. 欧米諸国における近代化
1学期中間試験	
1学期	【2】近代化と私たち 2. 欧米諸国における近代化 3. 近代化の発展と国民国家形成
1学期期末試験	
2学期	【2】近代化と私たち 4. アジア諸国の動揺と日本の開国 5. 近代化が進む日本と東アジア
2学期中間試験	
2学期	【2】近代化と私たち 5. 近代化が進む日本と東アジア 【3】国際秩序の変化や大衆化と私たち 1第一次世界大戦と日本の対応
2学期期末試験	
3学期	【3】国際秩序の変化や大衆化と私たち 1第一次世界大戦と日本の対応
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を基準として評価する。毎単元で用いるプリントの取り組み状況や、適宜課される課題により平常点をつける。
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新しい社会歴史	東京書籍	
明解 歴史総合	帝国書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考
明解 歴史総合ノート		帝国書院	
明解 歴史総合図説シンフォニア		帝国書院	

担当者からのアドバイス

歴史を学ぶ醍醐味は、「なぜ？」を突き詰めていくことだと思います。
基礎的な歴史的知識を身に付けた上で、一つ一つの出来事について、その原因や背景を探求していく、この作業の繰り返しが、これからの時代に求められる力を養うことにつながるでしょう。
自ら読み解き、自らの言葉で表現することを大切に授業を進めていきたいと思います。共に楽しく学ぶ授業を作り上げていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	SG	3	山口

到達目標

高校で数学を学ぶために必要な式の計算や方程式、関数の基本的な考え方を習得することが目標である。
特に、代数・幾何を問わず重要である無理数の考え方・四則について、十分な演習によりスムーズに出来るようにする。
また基本内容を十分に理解した上で関数・方程式の発展的な内容に触れて、様々な考え方、表現の仕方について学んでいく。

授業の進め方・学習方法

〈授業の進め方〉授業は講義を中心に基礎を確認し、演習や小テストに取り組みながら定着を図る。
〈学習方法〉①授業ノートを丁寧にとる。
②授業があった日には帰宅後にノートを読み返す。
③宿題だけで終わりにせず、積極的に問題集に取り組む。
④積極的に質問する。

授業スケジュール

1学期	"体系数学2　代数編 第1章　式の計算　　・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用
1学期中間試験	
1学期	第2章　平方根　　・平方根 ・根号を含む式の計算 ・有理数と無理数 ・近似値と有効数字
1学期期末試験	
2学期	第3章　2次方程式　　・2次方程式の解き方 ・2次方程式の利用 第4章　関数y=ax^2　　・関数y=ax^2 ・関数y=ax^2のグラフ ・関数y=ax^2の値の変化
2学期中間試験	
2学期	第4章　関数y=ax^2　　・関数y=ax^2の利用 ・いろいろな関数
2学期期末試験	
3学期	第5章　データの活用　　・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位範囲 第6章　確率と標本調査　・場合の数 ・確率の計算
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学2　代数編	数研出版	
体系問題集　数学2　代数編	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

学校の授業は学習においての基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後に続く内容において重要な役割を持っています。授業で生じた疑問はきるだけ早く解消することを心掛けてください。正しく理解していくことを積み重ねることにより、発展的な課題に前向きな取り組みをしていく姿勢がでてきます。ただし得た知識を使い正しい結論を求めようとするだけでなく、結論までの過程も重要であり、これを見つけ出すための力をつけるには、積極的に日々の演習をしていくことがとて大事なことです。計算でも、記述でも有効であることは気にとめておきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	SG	3	玉上

到達目標

これまでに学んできた知識をもとに、相似や三平方の定理など、幾何学で重要な単元を学ぶ。多くの証明方法に触れ、思考の多様性を養っていく。この過程で得た考え方などを共有していくことで、より確かな知識を身に付けることを目指す。

授業の進め方・学習方法

＜授業の進め方＞
　定理の証明や問題演習において、自ら考える姿勢を大切にするとともに、自身の考えを発表する機会も設けていく。また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施する。分野によっては中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指す。学習の理解度を見ながら、進度に幅を持たせていく場合がある。
＜学習方法＞
　授業ノートは復習をする際、最も有効な参考書となるため、できる限り丁寧に書くこと。また、家庭学習における復習を大切にすること。授業があった日にはノートを見直して内容を確認し、内容の定着のために出される宿題は必ず取り組み、わからないことがあれば積極的に質問に来ること。

授業スケジュール

1学期	図形と相似 1　相似の意味 2　相似な図形 3　三角形の相似条件 4　平行線と線分の比 5　中点連結定理 6　相似な図形の面積比、体積比
1学期中間試験	
1学期	線分の比と計量 1　三角形の重心 2　線分の比と面積比 3　チェバの定理 4　メネラウスの定理
1学期期末試験	
2学期	円 1　外心と垂心 2　円周角 3　円に内接する四角形 4　円の接線 5　接線と弦のつくる角 6　方べきの定理 7　2つの円
2学期中間試験	
2学期	三平方の定理 1　三平方の定理 2　三平方の定理と平面図形
2学期期末試験	
3学期	3 三平方の定理と空間図形
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学2　幾何編		
体系数学問題集2　幾何編		

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

学校の授業は学習においての基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後に続く内容において重要な役割をもっています。授業の中で生じた疑問はできる限りはやく解消することを心がけましょう。理解が進むにつれて発展的な課題に取り組みたいという欲がでてくることでしょう。ただし、得た知識を使い、表現する力をつけることも大切であり、このために日々演習することは不可欠です。計算でも記述でも有効である事は気にとめておきましょう。
また、上に書いたことは時間がかかるようでも、その後に続く発見する楽しさ、分かる喜びに比べればほんのわずかな時間に過ぎません。充実した時間を過ごすためにも共に頑張っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅰ	SG	2	田仲

到達目標

高等学校で扱う基本的な理論化学をもとに，中学校で扱う「化学」に関連する現象の本質を正しく理解する。また，化学式や化学反応の書き方を習得し，さらに物質量の概念に基づく種々の化学反応の定量的な議論ができるようになる。

授業の進め方・学習方法

教科書，板書，プリント，ICT機器などを活用します。ノートまたはプリント，教科書，PCは必ず持参して下さい。授業は1年間を通して化学分野となります。もし，「授業が難しい、進度が早い」と感じた場合は，スタディサプリを使った予習・復習も効果的です。また，クラスメイトと教え合うことでお互いの理解が深まります。次の授業が始まるまでに前回までの「わからないところ」を残さない姿勢を貫きましょう。やや難易度の高い内容を扱うこともありますが，予習・復習をしっかり行えば大丈夫です。

※定期試験にむけて
知識の暗記やパターン問題の機械的習得に走らないようにしましょう。一つ一つの疑問をていねいに解決させ，自分の言葉で用語や式の説明ができるようになりましょう。

授業スケジュール

1学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章　化学変化とイオン（中学1年の復習） 　第2節　電子配置とイオン 　　・原子の構造 　　・電子配置とイオンの生成 　　・イオン結合とイオンの化合物 　　・電離と化学式の書き方 　　・イオン結合以外の化学結合 第5章　物質の化学変化 　第2節　いろいろな化学変化 　　（授業で学習した化学反応式の書き方を中心に。） 　第4節　相対質量，原子量，物質量 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 中学1年の復習（原子の構造，電子配置，イオンの生成，イオン結合，共有結合，金属結合）， 化学反応式，相対質量，原子量，物質量 (＋理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項
1学期中間試験	
1学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第5章　物質の化学変化[続き] 　第4節　化学変化と量の関係 ※この単元で有効数字の扱い方を学習します。 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 化学反応の量的関係，1学期中間試験の範囲 (＋理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項
1学期期末試験	
2学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章　化学変化とイオン 　第1節　電解質と非電解質 　第6節　酸とアルカリ 　第7節　中和と塩 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 電離，電解質と非電解質，酸と塩基の定義，中和反応と量的関係 (＋理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項
2学期中間試験	
2学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章　化学変化とイオン 　酸化還元の基礎（教科書範囲外） 　第4節　イオン化傾向 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 酸化・還元の定義，酸化数，電子を用いたイオン反応式，金属のイオン化傾向 (＋理科実験の学習内容)，2学期中間試験の範囲 ※授業で扱った内容とその関連事項
2学期期末試験	
3学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章　化学変化とイオン 　第5節　電池 　第3節　電気分解 ＜定期試験範囲のまとめ＞ ボルタ電池，ダニエル電池，その他の化学電池，電気分解 (＋理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内で扱った内容の基礎事項の確認とともに、本質的な内容理解を問う問題を多く出題します。暗記などに走らず、一つ一つの内容をどこまでも自分自身が納得いくまで理解しましょう。なお、期末試験では中間試験の範囲も出題し、学年末試験では、1・2学期の内容も出題します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
未来へ広がるサイエンス1	啓林館	
系統的に学ぶ中学化学	文理	
系統的に学ぶ中学化学・問題集	文理	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

一つ一つの物質の性質や化学反応の本質を理解することで，化学の奥深さを知ることができると思います。煩雑な計算にとらわれることなく，どこまでも深く追究する姿勢でのぞみましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅱ	SG	2	井上徳也

到達目標

第一学期は、動物の体内で行われている営みに関する事項、生物の分類、細胞の構造を学びます。
第二学期は、生殖と遺伝のしくみを学びます。
第三学期は、進化と生態系を学びます。
それぞれの学期で学んだことを論理的に整理し、
身近な生物の活動について、各自が探求できるようになってほしいところです。

授業の進め方・学習方法

文理の教科書を使用して授業を進めます。
定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。
第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。

授業スケジュール

1学期	第3章　動物の世界 第3節　血液の循環と不要物の排出 ・腎臓の構造 ・腎臓のはたらき ・免疫 第4節　動物の分類 第4章　植物でも動物でもない生物 第1節　菌類 ・カビとキノコ 第2節　原生生物 ・ゾウリムシのからだ ・原生生物と多細胞生物 第3節　原核生物 ・真核細胞と原核細胞 ・真正細菌と古細菌 <定期試験範囲> 教科書　第3章第3節 腎臓、免疫分野、第4節すべて、第4章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む
1学期中間試験	
1学期	第5章　細胞 第1節　細胞のつくりとはたらき ・細胞小器官 ・細胞分画法 ・細胞内共生説 第2節　細胞のふえ方 ・分裂組織と幹細胞 ・染色体 ・体細胞分裂と細胞周期 <定期試験範囲> 教科書　第5章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲、1学期中間試験の範囲を含む
1学期期末試験	
2学期	第6章　生殖と発生 第1節　生殖 ・無性生殖 ・有性生殖と染色体 ・減数分裂 ・重複受精と染色体数と核相 ・動物の配偶子形成 第2節　動物の発生 ・発生と卵の種類 ・カエルの発生 ・ウニの発生 第7章　遺伝 第1節　遺伝とそのしくみ ・遺伝と遺伝子 ・一遺伝子雑種 ・二遺伝子雑種 <定期試験範囲> 教科書　第6章すべて、第7章第1節 遺伝と遺伝子、一遺伝子雑種、二遺伝子雑種　問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む
2学期中間試験	
2学期	第6章　生殖と発生 第1節　生殖 ・無性生殖 ・有性生殖と染色体 ・減数分裂 ・重複受精と染色体数と核相 ・動物の配偶子形成 第2節　動物の発生 ・発生と卵の種類 ・カエルの発生 ・ウニの発生 第7章　遺伝 第1節　遺伝とそのしくみ ・遺伝と遺伝子 ・一遺伝子雑種 ・二遺伝子雑種 <定期試験範囲> 教科書　第6章すべて、第7章第1節 遺伝と遺伝子、一遺伝子雑種、二遺伝子雑種　問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含
2学期期末試験	
3学期	第9章　生物どうしのつながり 第1節　生態系 ・生態系の概要 ・食物連鎖や種間相互作用 第2節　生態系内での物質の循環とエネルギーの移動 ・生態系ピラミッド ・炭素と窒素の循環 第3節　生態系の保全 ・生態系の保全 第4節　人間の生活と自然 ・人間の生活と自然 第8章　生物の進化 第1節　地質時代と生物の移り変わり ・化学進化と細胞内共生説 ・地質時代 第2節　生物の進化を探る ・示準化石と示相化石 ・相似器官と相同器官 第3節　進化はどのようにして起こるか ・適応放散と収束進化 ・いろいろな進化論 <定期試験範囲> 教科書　第8章、第9章すべて　問題集の相当範囲、および理科実験の範囲、1年間のすべての範囲を含む
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。 「理科実験」の評価は、「理科」とは別に、レポートの質や実験への取り組み等でつけられます。 これらの評価をもとに、年度末には「理科」としての成績が算出されます。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	教科書番号	備考
系統的に学ぶ中学物理	文理		
系統的に学ぶ中学物理　問題集	文理		
未来へ広がるサイエンス	啓林館		

担当者からのアドバイス

かつて「生命力」という不思議な力で信じられていた生物は、今やその仕組みの多くが解明されつつあります。
不思議に見える生物の仕組みを学習し、巧妙なプログラムを知りましょう。
花が咲いていることも、何気なく食べ物を食べて消化していることも、仕組みを知るとそこには思いもよらない綿密な仕組みがあります。深く深く知っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	SG	4	二渡

到達目標

●Reading：物語やニュースなどの身近なことに関する比較的平易な文章を理解することができる。
●Listening：身近なことに関する話や指示を理解することができる。
●Writing：限定された話題について意見や感想など、まとまった文章を書くことができる。
●Speaking
身近なことや自分のことについて、簡単な会話をしたり、意見を述べたりすることができる。

授業の進め方・学習方法

・英語諌コミュニケーション能力を育成するために、各技能をバランスよく伸長できるような授業形態で進める。
New Treasure stage1および2のテキストを中心に会話活動・音読を行う。
・家庭学習（宿題）を通して、基礎の確認並びに幅広い応用力を身につける。
　基本の定着を行うとともに、New Treasure準拠の文法問題集を使って応用力を身につける。
・授業内や朝学習で、必要に応じた各種小テストを行い、知識の定着を徹底する。
New Treasureの教科書や文法問題集に基づいたテストや、単語（キクタン【中学英単語】）テストを行い、知識の定着を図る。
・海外の人々と共生する力を育成するために、諸外国の文化なども学ぶ。
　テキストに出てくるトピックを利用して海外の文化を理解する。

授業スケジュール

1学期	≪New Treasure　Stage2 ≫ Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3
1学期中間試験	
1学期	≪New Treasure　Stage2 ≫ Lesson 4 Lesson 5
1学期期末試験	
2学期	≪New Treasure　Stage2 ≫ Lesson 6 Lesson 7
2学期中間試験	
2学期	≪New Treasure　Stage2 ≫ Lesson 8 Lesson 9
2学期期末試験	
3学期	≪New Treasure　Stage2 ≫ Lesson 10 Lesson 11
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験諌結果及び、授業内諌取り組み・提出物・小テストなどを総合的に評価する。
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考
New Treasure Stage2 3rd Edition 教科書	Z会出版	
New Treasure Stage2 3rd Edition 文法問題集	Z会出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考
キクタン【中学英単語】		アルク	

担当者からのアドバイス

英語は言語なので、正しく使うことができることを目標としています。“正しく”使うためには、文法や語彙といった土台をきちんと構築し、その上に『読む・書く・聞く・話す（伝える）』の技能をバランスよく身に着けていく必要があります。母語同様、触れれば触れるほど習得へ近づきます。日々の授業や宿題を含めた予復習を大事にし、継続的に取り組む姿勢を大切にしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	SG	3	Mr. Croft

到達目標

The students in this course will be taught to use English to communicate in the modern world. The goal is for them to speak English in a natural, confident way to express their ideas and exchange opinions and information. They will also be able to start to use English to study academic subjects. In particular, instructions for classes taken in English will be emphasized. Focus in the second year will be on English for academic purposes and study in an international environment. This is a four skills course, but the majority of class time will be spent on improving students' speaking skills.

授業の進め方・学習方法

Whilst students will be using Solutions Pre-Intermediate (3rd Edition) as the core text for this course, they will be also be using a variety of supplementary materials, games, language activities and pronunciation aids. To improve listening, students will be using a variety of independently developed material. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar, vocabulary building and writing exercises. Students will be encouraged to read as many English books as possible.

授業スケジュール

1学期	We are going to review: 'likes and dislikes' and 'contrasting present simple and present continuous', before learning the language for describing people and articles. We will then look at the vocabulary of feelings, the 'past simple' tense, listening for gist and 'past simple' negative and interrogative forms.
1学期中間試験	
1学期	In the second half of this term we are going to look at adjective endings, improve our reading and comprehension skills as well as learning how to narrate events and describe events.
1学期期末試験	
2学期	In the first half of this term, we'll be looking at landscapes. the 'past continuous' tense, antonyms and describing photos.
2学期中間試験	
2学期	The second part of this term will start with a look at the language needed to talk about films and TV shows before moving on to describing quantity and how we use words to advertise. Time permitting, we will also talk about prohibition and necessity as well as prefixes.
2学期期末試験	
3学期	We will discuss jobs, *'will'* and *'going to'* for predictions, offers and plans, the 'first conditional' and more prefixes.
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment.
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	

教科書・教材

書名	出版社	備考
Solutions: Pre-Intermediate - Student's Book	OUP	978-0-19-451056-1 Third Edition
Solutions: Pre-Intermediate - Workbook	OUP	978-0-19-451059-2 Third Edition

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

1. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes!
2. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment.
3. Preview all your lessons.
4. Review all your lessons.
5. Don't give up and if you forget something; learn it again.
6. Do all your homework and submit it before the deadline!
7. Ask if you don't understand anything.
8. Read as much as you can.
9. Go online and access English.
10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.